



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 東和薬品株式会社

コード番号 4553 URL <http://www.towavakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長

(氏名) 西川義明

TEL 06-6900-9101

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	26,742	16.0	4,368	△6.2	4,228	△11.2	2,710	△7.0
24年3月期第2四半期	23,060	5.5	4,658	4.8	4,762	12.9	2,915	10.3

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 2,741百万円 (△5.3%) 24年3月期第2四半期 2,895百万円 (12.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	159.51	—
24年3月期第2四半期	169.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	86,181		52,640		61.1
24年3月期	81,244		50,494		62.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 52,640百万円 24年3月期 50,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	40.00	—	35.00	75.00
25年3月期	—	37.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	37.50	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期第2四半期末の配当金には、創業60周年記念配当5.00円を含んでおります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,400	11.7	8,300	△8.9	8,200	△16.7	5,100	△11.1	300.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	17,172,000 株	24年3月期	17,172,000 株
25年3月期2Q	176,689 株	24年3月期	176,643 株
25年3月期2Q	16,995,331 株	24年3月期2Q	17,167,076 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要などから国内需要が堅調に推移するも、緩やかに持ち直しつつありましたが、輸出の減少、復興関連を除く内需の伸び鈍化や、急速に悪化した日中関係など、多くの懸念材料がくすぶる状況となっております。

医療用医薬品業界では、平成24年4月の診療報酬改定で薬価改定が行われるとともに、薬局の調剤基本料における後発医薬品調剤体制加算の見直しなどが実施されました。この影響により、後発医薬品の調剤割合のさらなる増加を図る保険薬局が多く、当社の4月の売上は大きく増加しました。また、当社の保険薬局向けの売上比率もさらに高まっています。しかしながら5月以降はほぼ当初計画通りの売上推移となっており、本見直しの影響は一巡しています。製品別では、アトルバスタチン錠、ドネペジル錠・OD錠など、平成23年に発売した新製品が売上増に寄与しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、26,742百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

コスト面では、山形工場の減価償却費の計上により、原価率が上昇しました。また、営業所の新設や、東日本物流センターの稼働など、安定供給体制の拡充に伴う費用の増加などにより販売管理費が増加したため、営業利益は4,368百万円（前年同期比6.2%減）となりました。また、営業外費用としてスワップ評価損231百万円を計上したため、経常利益は4,228百万円（前年同期比11.2%減）、四半期純利益は2,710百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、86,181百万円となり、前連結会計年度末比4,936百万円の増加となりました。そのおもな要因は、機械装置及び運搬具の増加1,862百万円、有価証券の増加1,418百万円などです。

負債につきましては、33,540百万円となり、前連結会計年度末比2,790百万円の増加となりました。そのおもな増加要因は、長期借入金の増加4,504百万円などであり、おもな減少要因は、その他流動負債の減少2,878百万円などです。

純資産につきましては、52,640百万円となり、前連結会計年度末比2,146百万円の増加となりました。そのおもな要因は、利益剰余金の増加2,116百万円です。

その結果、自己資本比率は61.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較し1,640百万円減少し、2,158百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益4,182百万円等の収入がありましたが、法人税等の支払額1,649百万円、たな卸資産の増加1,566百万円等の支出があったため、差引4,495百万円の収入（前年同期比2,428百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7,198百万円、有価証券の取得による支出3,000百万円等があったため、10,827百万円の支出（前年同期比5,337百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入6,500百万円がありましたが、長期借入金の返済による支出1,178百万円等があったため、4,723百万円の収入（前年同期比2,428百万円の収入増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、平成24年5月14日に公表した売上計画を若干上回るペースで推移しておりますが、計画を大きく上回ったのは4月だけであり、5月以降はほぼ当初計画通りの売上推移となっております。通期でもほぼ当初計画水準となる見込みであります。

利益につきましては、当初計画よりも上回るペースで進捗しておりますが、下期にかけて山形工場の減価償却費が増加することで、下期の営業利益は当初計画を下回る見込みとなっております。結果、通期の営業利益もほぼ当初計画水準となる見込みであります。

したがって、平成25年3月期の連結業績予想（通期）は修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ67百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,217	4,158
受取手形及び売掛金	16,467	16,079
有価証券	2,081	3,500
商品及び製品	9,169	9,845
仕掛品	3,639	3,996
原材料及び貯蔵品	4,490	5,024
その他	2,306	1,976
貸倒引当金	△126	△87
流動資産合計	42,245	44,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,230	20,530
機械装置及び運搬具(純額)	4,943	6,805
土地	6,771	6,788
建設仮勘定	3,504	2,615
その他(純額)	793	857
有形固定資産合計	35,242	37,597
無形固定資産	774	780
投資その他の資産		
投資有価証券	1,811	1,731
その他	1,266	1,670
貸倒引当金	△95	△91
投資その他の資産合計	2,981	3,310
固定資産合計	38,998	41,688
資産合計	81,244	86,181

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,473	6,925
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	2,007	2,825
未払法人税等	1,742	1,635
引当金	74	37
その他	9,228	6,349
流動負債合計	19,826	18,072
固定負債		
長期借入金	9,792	14,296
引当金	167	172
その他	963	999
固定負債合計	10,923	15,467
負債合計	30,750	33,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,870
利益剰余金	38,567	40,683
自己株式	△638	△638
株主資本合計	50,516	52,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	8
その他の包括利益累計額合計	△22	8
純資産合計	50,494	52,640
負債純資産合計	81,244	86,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	23,060	26,742
売上原価	10,412	12,747
売上総利益	12,648	13,995
販売費及び一般管理費	7,990	9,626
営業利益	4,658	4,368
営業外収益		
受取利息	8	19
受取配当金	2	2
技術指導料	35	21
貸倒引当金戻入額	142	52
有価証券評価益	67	15
補助金収入	—	100
その他	29	92
営業外収益合計	285	302
営業外費用		
支払利息	43	49
有価証券売却損	17	96
為替差損	13	14
スワップ評価損	104	231
その他	2	49
営業外費用合計	181	442
経常利益	4,762	4,228
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産処分損	10	12
投資有価証券評価損	83	40
特別損失合計	94	52
税金等調整前四半期純利益	4,667	4,182
法人税等	1,752	1,471
少数株主損益調整前四半期純利益	2,915	2,710
四半期純利益	2,915	2,710

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,915	2,710
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△19	30
その他の包括利益合計	△19	30
四半期包括利益	2,895	2,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,895	2,741
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,667	4,182
減価償却費	958	1,998
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△136	△42
その他の引当金の増減額 (△は減少)	5	83
固定資産処分損益 (△は益)	10	12
受取利息及び受取配当金	△11	△21
支払利息	43	49
スワップ評価損益 (△は益)	104	231
有価証券評価損益 (△は益)	16	25
有価証券売却損益 (△は益)	17	89
売上債権の増減額 (△は増加)	1,318	388
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,503	△1,566
仕入債務の増減額 (△は減少)	203	452
その他	△552	193
小計	4,142	6,075
利息及び配当金の受取額	11	21
利息の支払額	△46	△51
法人税等の支払額	△2,040	△1,649
補助金の受取額	—	100
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,066	4,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△2,500
定期預金の払戻による収入	3,500	2,500
有価証券の取得による支出	—	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△3,761	△7,198
投資有価証券の取得による支出	△155	△294
投資有価証券の売却による収入	156	303
貸付けによる支出	—	△490
貸付金の回収による収入	13	3
その他	△243	△151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,490	△10,827
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	6,500
長期借入金の返済による支出	△100	△1,178
配当金の支払額	△600	△594
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,295	4,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,159	△1,640
現金及び現金同等物の期首残高	8,031	3,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,871	2,158

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等
当社グループ（当社及び連結子会社）は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。